

参考資料 流域治水プロジェクト

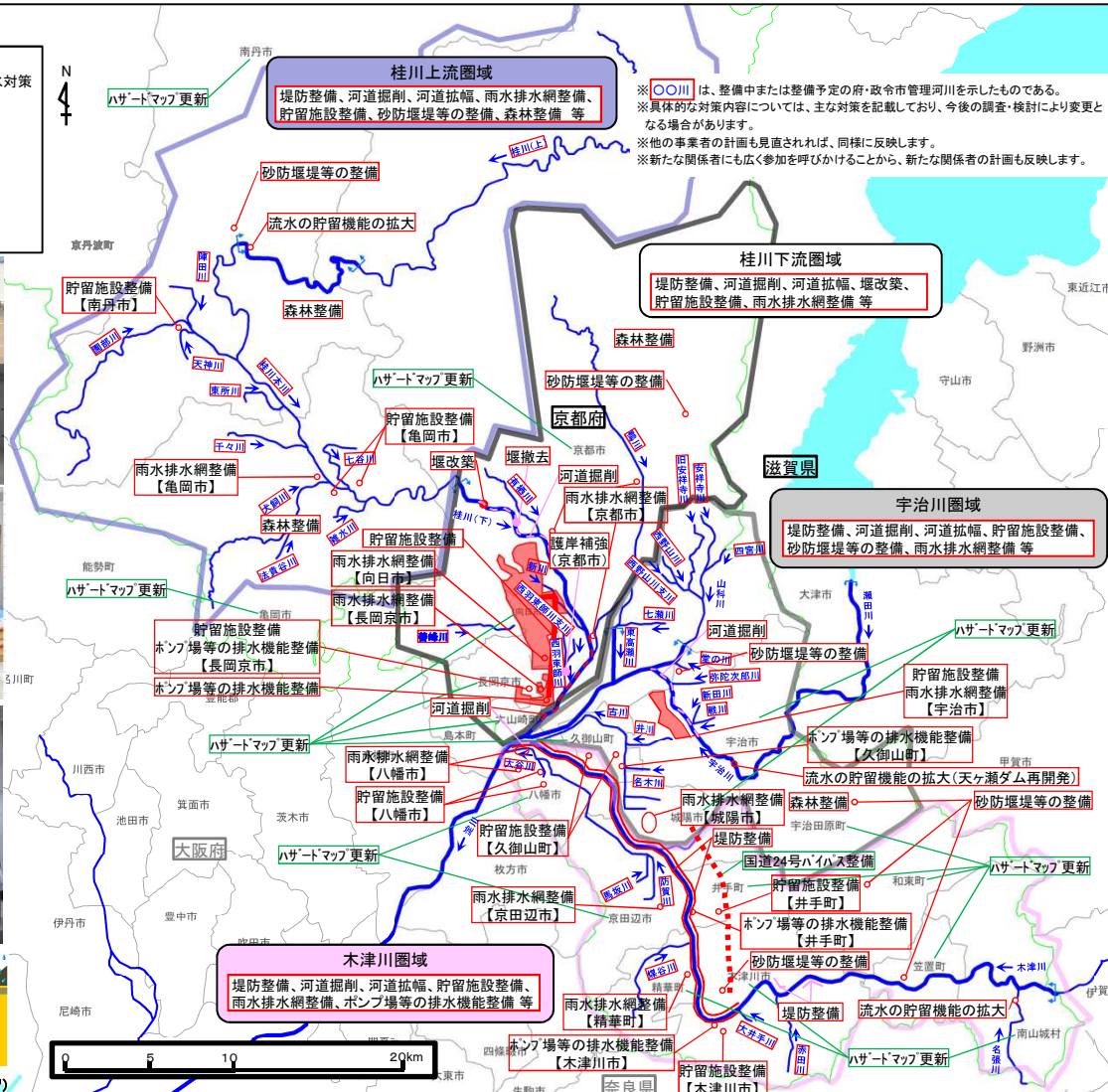
（淀川流域治水協議会資料からの抜粋）

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

- 京都府域では、宇治川、木津川、桂川が1箇所で合流する三川合流点が存在。
- 三川合流点の上流では、合流点の高い水位によるバックウォーター現象から、各河川において、水位が高く洪水が流れにくい状態となるため、内水河川からの排水が困難となり、近年洪水でも内水被害が発生。
- このため、三川合流点への流量の低減や合流時間を分散させ、バックウォーター現象を抑制する対策等を実施する。

- 凡例
- 大臣管理区間
 - 堤防整備
 - 河道掘削
 - 堰改築、堰撤去
 - 県境
 - 市町村境
 - 貯留施設整備
 - 雨水排水網整備等
 - 道路整備
 - 拡充する治水対策



※〇〇川は、整備中または整備予定の府・政令市管理河川を示したものである。
※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・堤防整備、河道掘削、堰改築、堰撤去、護岸補強
 - ・砂防堰堤等の整備
 - ・雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
 - ・天ヶ瀬ダム再開発
 - ・流水の貯留機能の拡大
 - ・堆積土砂撤去
 - ・河川管理施設等の老朽化対策
 - ・河道内樹木の伐採
 - ・森林整備
 - ・ため池等の整備、貯留施設整備
 - ・開発行為に伴う調整池の設置
 - ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・立地適正化計画策定
 - ・条例等に基づき計画している安全なまちづくり
 - ・水害リスクマップの作成

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・地区タイムラインの活用
 - ・広域避難計画の策定
 - ・要配慮者避難確保計画等の作成、支援
 - ・ハザードマップ更新
 - ・マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
 - ・まるごとまちごとハザードマップの整備
 - ・分かりやすい防災気象情報の提供
 - ・VR・AR等を用いた情報発信
 - ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
 - ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
 - ・「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
 - ・災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備

■**グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ**



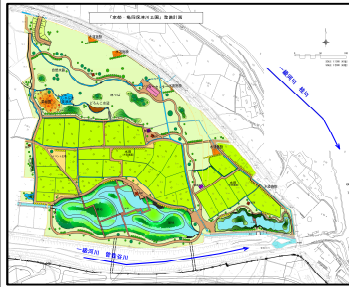
淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【流域治水の具体的な取組】

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p>整備率：77% (概ね6ヵ年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>39市町村 (令和4年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>221施設 (令和3年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 64箇所 (令和4年度実施分) 砂防関係施設の整備数 7施設 (令和4年度完成分) ※施工中 29施設</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>9市町村 (令和4年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 186河川 (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年3月末時点 内水浸水想定区域 7団体 (令和4年9月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 14,088施設 土砂 906施設 (令和4年9月末時点) 個別避難計画 44市町 (令和4年1月1日時点)</p>
---	---	---	--	---	---	---

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

遊水機能を有した公園整備計画(亀岡市)



自然共生型の遊水地機能を備えた公園を整備

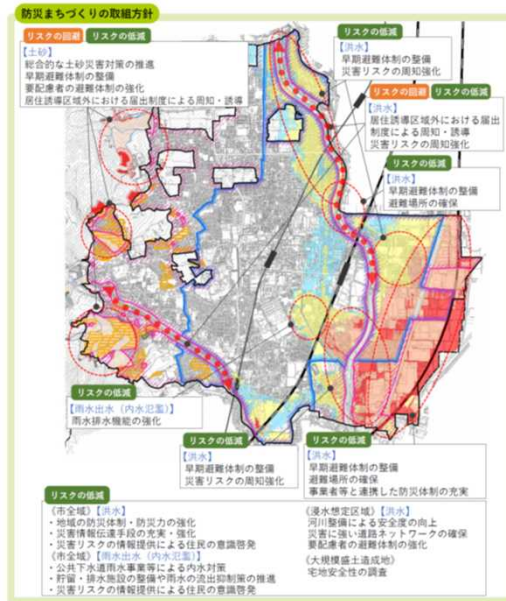
雨水地下貯留施設の整備(京都府)

雨水貯留施設「いろは呑龍トンネル」の整備により、桂川右岸地域の浸水対策を実施する。



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画の見直し(長岡京市)



・「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」の見直し
・防災指針を追加し、災害リスクを出来る限り回避、低減させるために必要な取り組みを具体的に提示

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

想定浸水深ラッピングによるまちなちHMの高度化(木津川市)



マイ防災マップによる地域防災力の向上(京田辺市)



※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。
※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。 2

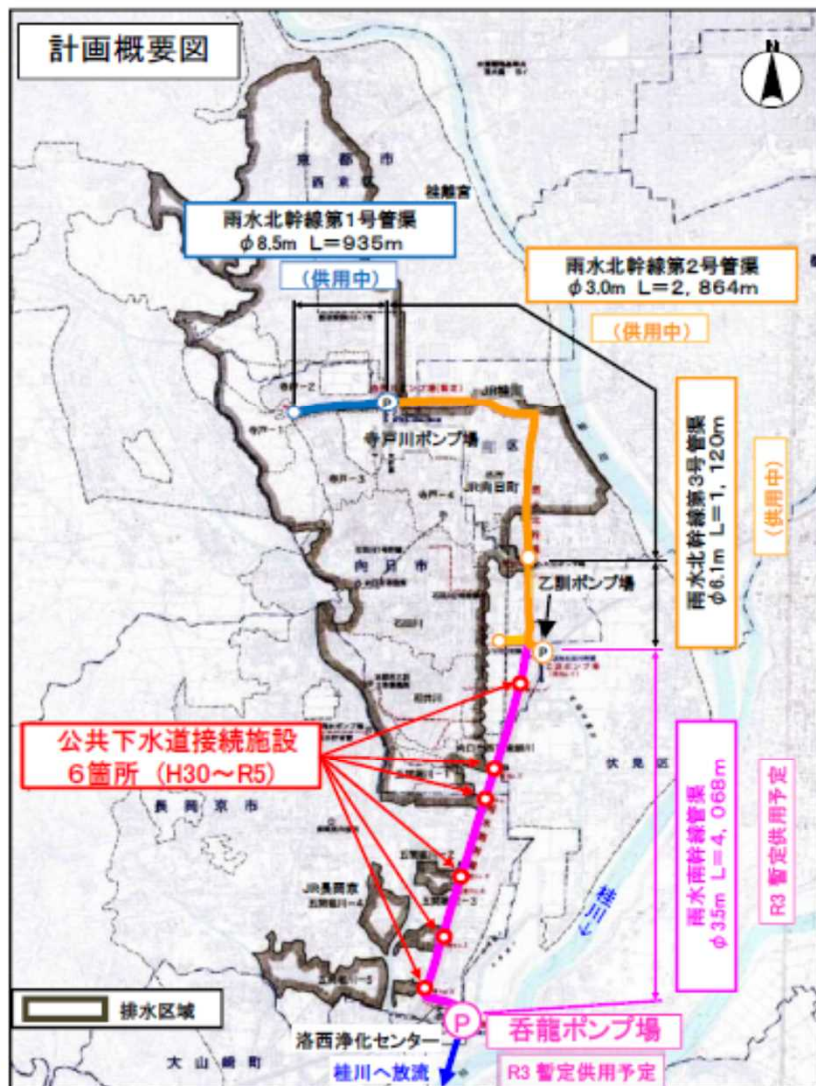


貯めると流す「いろは呑龍トンネル」の整備[全体計画]

R3.9

京都府

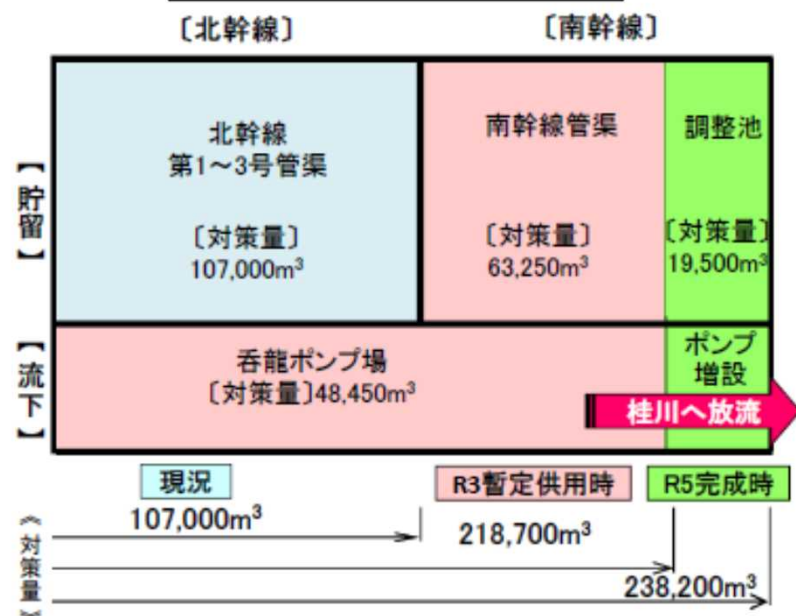
桂川右岸流域下水道(雨水)事業



事業概要

- 排水面積 約 1,421ha
- 対策量 約 24万m³
- 計画対象降雨 61.1mm/時 (1/10確率規模)
- 幹線管渠 全体延長 約9.0km
雨水北幹線(内径φ3.0~8.5m)延長4,919m
雨水南幹線(内径φ3.5m)延長4,068m
- 事業費 約490億円
- 事業経過 平成13年 北幹線第1号管渠供用開始
平成23年 北幹線第2号、3号管渠供用開始
- 事業計画 令和3年度 南幹線暫定供用
(桂川へ毎秒10m³放流)
令和5年度 完成(雨水調整池を整備)

いろは呑龍トンネル 整備計画



【宇治市】流域治水の取組 雨水貯留施設整備



地下貯留(オフサイト)

場所	貯留量 m ³
①開第一児童公園	540
②西宇治中学校	4,300
③伊勢田小学校	4,600
④老ノ木貯留管	1,550
整備済み	10,990
⑤目川貯留管	1,700
⑥堀池貯留管	2,400
⑦西川原児童公園	1,300
工事中	5,400

※令和4年度、1カ所整備工事予定

グラウンド貯留(オンサイト)

5 小学校 約8,000m³
 3 中学校 約5,000m³
 計 約13,000m³

令和3年8月13日豪雨(宇治市)

降雨状況：最大時間雨量 48mm

累計雨量 178.5mm

貯留状況：約7,000m³ (地下貯留のみ)

遊水機能を有した公園の整備 (亀岡市)



「京都・亀岡保津川公園」整備の基本的な考え方

◎ 公園のコンセプト

- アユモドキ等この地特有の生物多様性の保全・再生
- 昭和30年頃の亀岡の原風景の保全・再生
- 自然と共生するグリーン・インフラ(防災・減災、遊水機能の維持)
- 亀岡盆地が育んだ地下水は「亀岡のおいしい水」の源
- この地の自然や文化を学び、ふれあい、体感できる場の創出

◎ 構成要素

- 水路ネットワークの保全と再生
- 原風景の保全と再生
- 湿地帯(生物多様性の保全、遊水機能の維持)
- 子どもたちが自然とふれあえる空間
- 園路
- 学び、体感できる場

小川内水排水対策事業の推進(ポンプ場等の排水機能整備)

既存の排水ポンプ施設を増設して毎分440m³の排水機能を有する施設整備を推進しています。

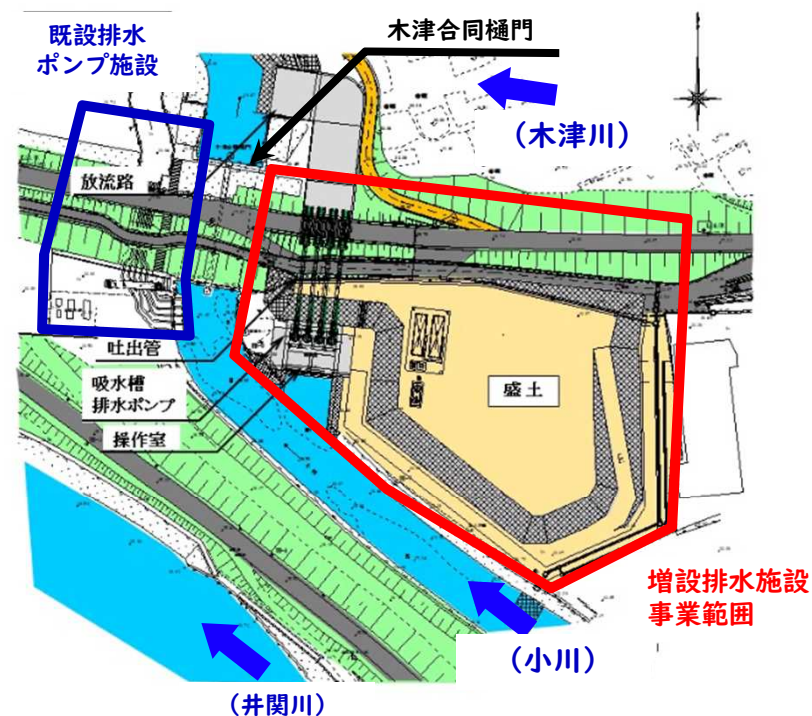
令和3年度:増設排水施設の詳細設計完了
事業用地の確保完了

令和4年度:第1次盛土、吸水槽築造工事着手
排水ポンプ施設製作着手

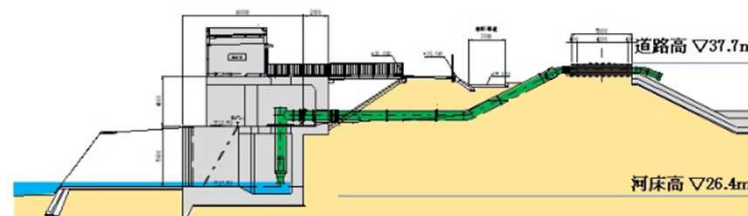
令和6年度:供用開始予定



施設概要図



横断図



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

第6回淀川流域治水協議会(本会)

地区タイムラインの策定

土砂災害警戒区域又は想定浸水深が3m以上の区域を有する地域を対象に、京都府全域で地区タイムライン策定の取り組みが進められています。
木津川市では、令和4年度までに13の地域で策定を完了しています。

危険地区数 (作成対象地区)	R2 (完了)	R3 (完了)	R4 (完了)	R5以降 (予定)
29	1	6	6	16



下川原地域での検討の様子

台風や大雨がきたらどうするの？

災害から、身を守るために、「いつ」「どこへ」どのように示した避難行動指針「タイムライン」
避難を考えるタイミングの手がかりとして、活用してください。
木津川市下川原地域タイムライン(作成年月:令和4年12月作成)

木津川市下川原地域タイムライン

気象状況
平常時 → 大雨注意報 → 大雨警報 → 特別警報

避難情報
平常時 → 大雨注意報 → 大雨警報 → 特別警報

警戒レベル
警戒レベル3: 高齢者等避難
警戒レベル4: 避難指示
警戒レベル5: 緊急安全確保

私たち(住民)の動き
自宅待機(避難準備) → 高齢者等避難の支援 → 山田川の想定区域内に全員避難 → 河岸浸食 全員避難

【自主避難場所】
安全な親せき・知人宅、プラント・パロー駐車場、自宅の2階以上

【一時集合場所】
集会所：南後背荘苑、千代田荘園、下川原、泉川団地
【市が開設する避難所】
相楽小学校(木津中学校) ※

【車で避難できる場所】
相楽小学校(木津中学校) ※、プラント・パロー駐車場 (注4)

【市が開設する避難所】
相楽小学校(木津中学校) ※

【車で避難できる場所】
相楽小学校(木津中学校) ※、プラント・パロー駐車場 (注4)

【自主避難場所】
安全な親せき・知人宅、プラント・パロー駐車場、自宅の2階以上

【一時集合場所】
集会所：南後背荘苑、千代田荘園、下川原、泉川団地

【市が開設する避難所】
相楽小学校(木津中学校) ※

【車で避難できる場所】
相楽小学校(木津中学校) ※、プラント・パロー駐車場 (注4)

【自主避難場所】
安全な親せき・知人宅、プラント・パロー駐車場、自宅の2階以上

【一時集合場所】
集会所：南後背荘苑、千代田荘園、下川原、泉川団地

【市が開設する避難所】
相楽小学校(木津中学校) ※

【車で避難できる場所】
相楽小学校(木津中学校) ※、プラント・パロー駐車場 (注4)

【自主避難場所】
安全な親せき・知人宅、プラント・パロー駐車場、自宅の2階以上

【一時集合場所】
集会所：南後背荘苑、千代田荘園、下川原、泉川団地

【市が開設する避難所】
相楽小学校(木津中学校) ※

【車で避難できる場所】
相楽小学校(木津中学校) ※、プラント・パロー駐車場 (注4)

【スイッチ1】 【木津川・山田川の危険度分布: 赤色、南後背南部の用水路が溢れる、南後背川・円度川の増水(溢れそう)】

【スイッチ2】 【木津川・山田川の危険度分布: 紫色、南後背川・円度川の溢水】

【木津川市】洪水浸水想定区域(想定最大規模)【詳細版】
URL: <https://stream.kiv.mlit.go.jp/public/yodogawa/bosai/citymenu/28214.html>

【検索ワード】気象庁 キキクル(危険度分布)
URL: <http://www.jma.go.jp/jma/>

【検索ワード】木津川市防災情報サイト
URL: <http://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/6,50367,12,93.html>

【検索ワード】木津川市防災情報メールの登録
メール送信先:
bousai.kizugawa-city@raidan.ktaiwork.jp

Q.どこへ避難すればいいの？

自主避難場所 安全な親せき・知人宅、プラント・パロー駐車場、自宅の2階以上

一時集合場所 集会所：南後背荘苑、千代田荘園、下川原、泉川団地

市が開設する避難所 相楽小学校(木津中学校)
※相楽小学校が仮倉庫工事終了までは、木津中学校を当初の避難所としています。

車で避難できる場所 相楽小学校(木津中学校)、プラント・パロー駐車場

次善の避難場所(セカンドベスト) 自宅2階以上

(注) 次善の避難場所(セカンドベスト)とは、市が開設する避難所までたどり着けない時に備えて、あらかじめ決めておく比較的安全と思われる場所のことをいいます。

七瀬川遊水地整備事業（京都市）

一級河川七瀬川は、全川にわたり治水安全度が低く、改修困難な狭小区間もあるため、これまで大雨等による浸水被害が何度も発生している。

【七瀬川概要】

流路延長：3,327m

流域面積：7.0km²

事業開始：平成4年度

（遊水地は令和元年度工事着手）



1983年度



2022年度

七瀬川遊水地整備事業（京都市）

京都市では、下流に流れる水の量を減らし、浸水被害を軽減するため、都市基盤河川事業として、狭小区間の上流部に遊水地を整備する工事を令和元年度から実施しており、令和5年3月に完成した。

【遊水地整備概要】

設置年月：令和5年3月

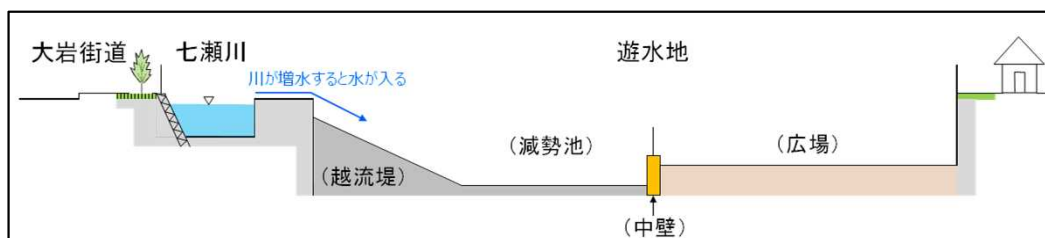
面積：3,080㎡（うち、広場1,520㎡）

貯水量：11,000㎡

整備箇所：京都市伏見区深草大亀谷久宝寺町他

遊水機能：大雨で増水した河川の水を越流堤から遊水地に引き込み、一時的に貯留し、水位が下がった後にポンプで排水する

広場整備：水がない平常時は市民の憩いの場として利用できるよう広場を整備



断面イメージ



七瀬川遊水地

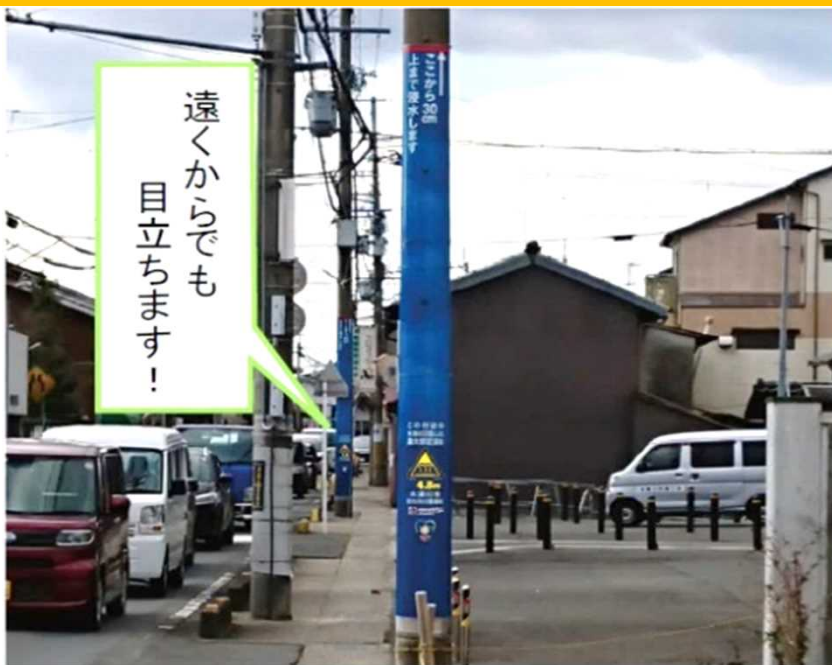
まるごとまちごとハザードマップの高度化

まるごとまちごとハザードマップの高度化

実施内容

- これまでのまるごとまちごとハザードマップ(まるまちHM)に比べてさらに分かりやすく、実際の浸水深が一目でわかるように工夫することで、設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうことができます。
- 二次元バーコードにより市町村の防災情報サイトに接続が可能となります。
- 二次元バーコードを活用した避難訓練や防災マップの作成にも活用できます。

まるごとまちごとハザードマップの高度化



令和3年度は木津川市、京都市で実施
令和4年度は京都市、摂津市で実施

■二次元バーコードによる防災情報の取得

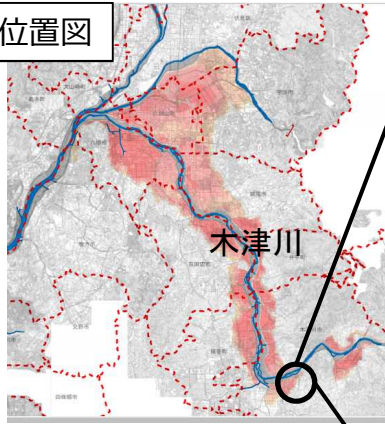


新たな注意警告記号として、より人目に付きやすい表示(試行)を採用しています。

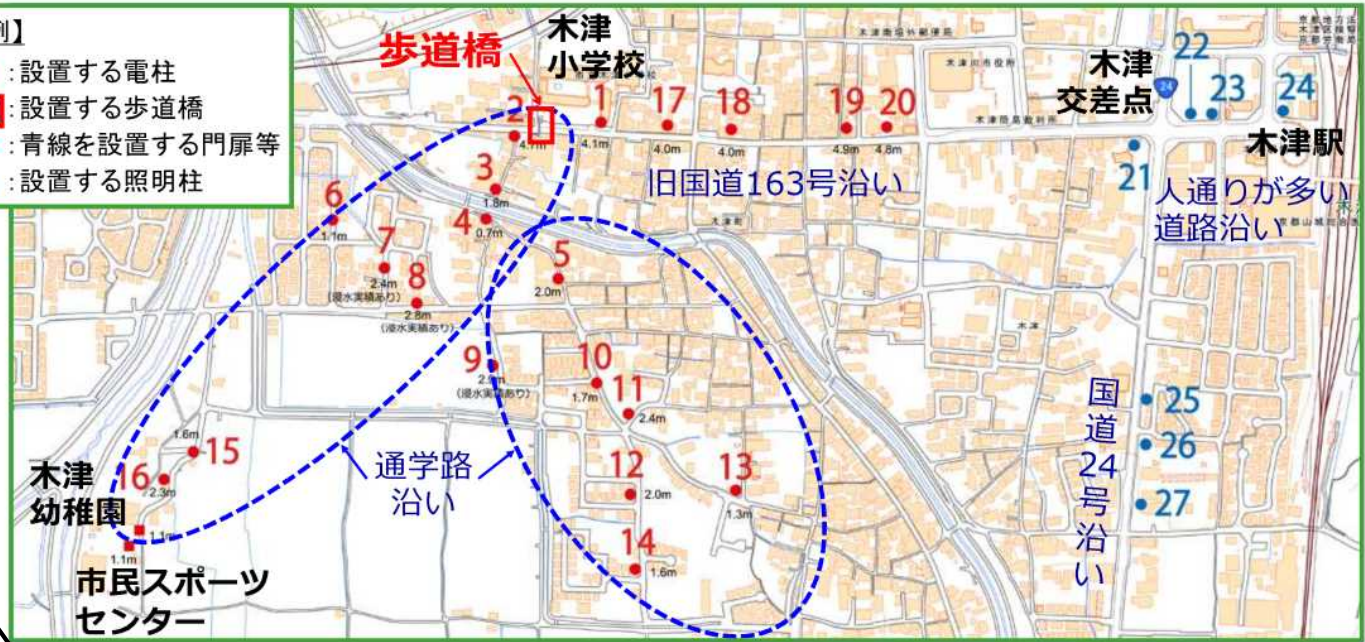
まるまち高度化について(木津川市木津駅前1丁目～木津川市木津町神田)

- ・木津川市では、平成25年、29年と市役所周辺で内水被害が発生し、これまで内水排除施設の整備や多機関連携型タイムラインの作成など、ハード、ソフトともに治水対策が進められていることから、今回、道路管理者と一緒に「流域治水」の取組として、まるまち高度化を実施。
- ・木津川市のJR木津駅から市役所前を含む人通りの多い30箇所での表示板を設置。

位置図



- 【凡例】
- : 設置する電柱
 - : 設置する歩道橋
 - : 青線を設置する門扉等
 - : 設置する照明柱



試行の浸水標識



- ・まるごとまちごとハザードマップの手引きでは、JIS規格に基づき、白・黒での表示となっているが、電柱全体のラッピングとなるため、白、青表示に一部改良。
- ・また、大きさについては、240mm以上とあり、高度化においては電柱表示でのバランスを考慮し、概ね300mm角での大きさで表示。
- ・なお、表示にあたり、より浸水範囲を危険に表示するため、地元と調整し、三角の黄色での表示を実施。

＜標準的な「洪水標識」・「内水標識」(表示内容説明板)＞

図記号(洪水・内水)

想定浸水深

Flood Water Depth (Projected)

この場所は〇〇川が氾濫すると〇m浸水する可能性があります

〇〇市/〇〇City

設置年・月

設置者名称(和英)

- ・図記号の視認性を高めるため、なるべく大きなレイアウトとする。(240mm角以上を標準とする)
- ・設置箇所における浸水深を表示する。図記号を顕在化する観点から、図記号内での浸水深表示を標準とする。※地下街での浸水深の表示は、推奨扱
- ・想定浸水深を数値で示す。いとす。
- ・想定浸水深を標準とする。
- ・多言語表示を標準とする。
- ・理解の深化のため、説明文の記載を標準とする。氾濫時の水の流れの方向の参考として、氾濫河川名を記載する。
- ・標識の設置者と設置年月の記載を標準とする。

まるまち高度化について(木津川市の取組)

関電柱への表示



木津川市歩道橋への表示



木津幼稚園の門扉への表示



木津川市照明柱への表示

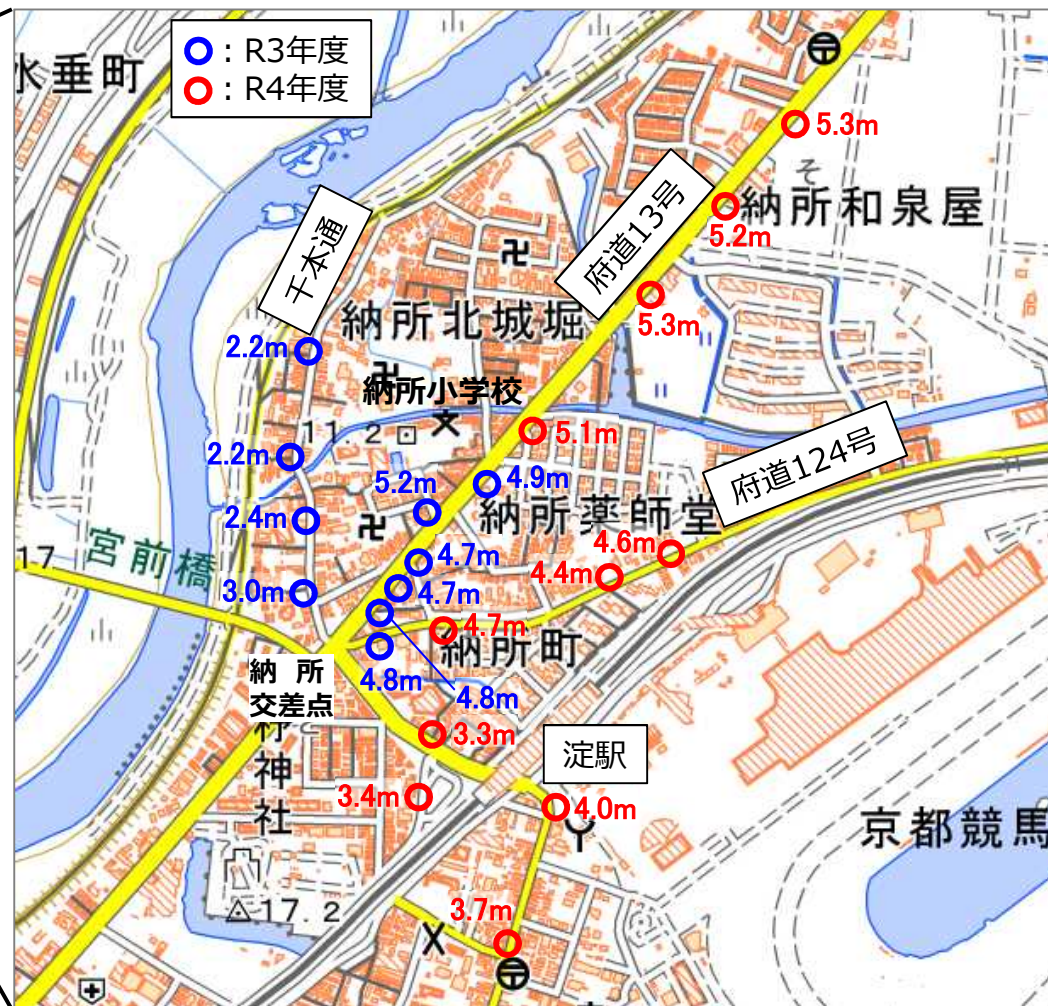
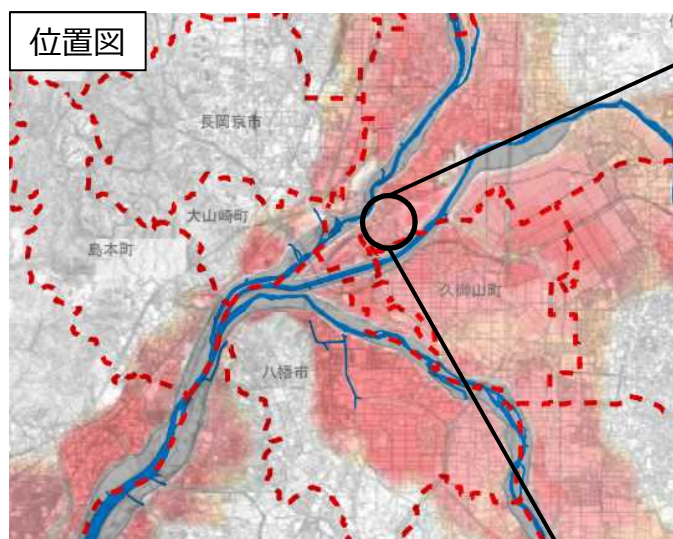


国道照明柱への表示

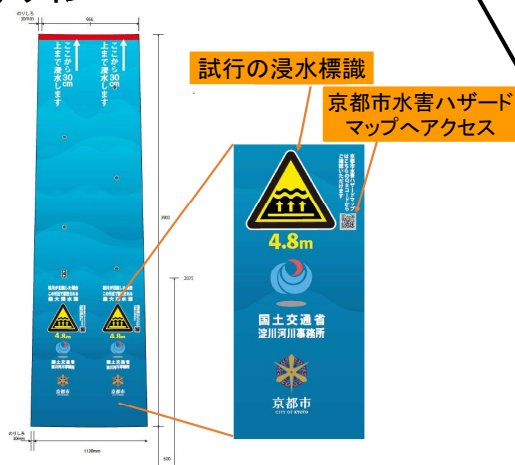


まるまち高度化について(京都市伏見区納所町)

・京都市伏見区納所では、桂川と宇治川に挟まれており、過去巨椋池の一部であったため、地盤高が非常に低く、全域にわたって5m近く浸水する地域となるため、地元要望を踏まえ、まるまち高度化を実施。
 ・府道13号・124号沿い、千本通、淀駅周辺の人通りの多い21箇所（R3年度:10箇所、R4年度:11箇所）で表示板を設置。



■設置デザイン (Installation Design)



まるまち高度化について(京都市の取組)

関電柱への表示

R3
設置



R4
設置



まるまち 鉄道会社との連携

■鉄道会社との連携の具体的な事例(まるごとまちごとハザードマップの設置)

実施内容

- 駅施設(京阪電鉄、大阪モノレール)に、まるごとまちごとハザードマップの看板を設置
- 大阪モノレール南摂津駅では、まるまち看板に加えて、駅施設壁面に想定浸水位を示す青色ラインを塗装



京阪電鉄 淀駅(京都市)



大阪モノレール 南摂津駅(摂津市)

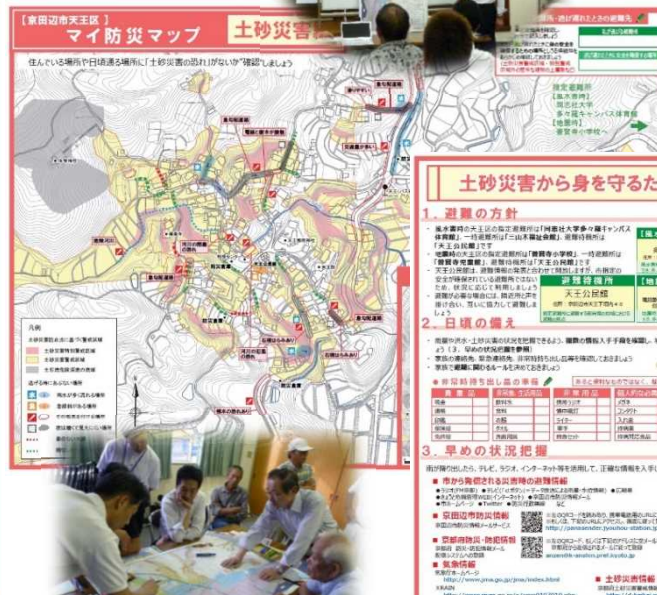
■本市における地域版防災マップ(マイ防災マップ)とは

市全域の水害ハザードマップとは別に、地域の特性に応じた避難の判断基準、避難方法、避難ルート等を住民自らが主体となって考え、実際にまち歩きを行ったうえで危険箇所を確認し、マップとして作成する防災マップであり、地域での決めごとや避難のタイミングなどをあらかじめ決めておくもの

事業実績

洪水で3m以上の浸水想定や土砂災害による被害戸数が多い地区を対象に、区・自治会単位でコンサル業者への委託により作成
 ●平成24年度～令和2年度 21地区で作成
 (水害:15地区、土砂災害:6地区)

1. 水害の基礎知識の習得
2. 地形等の地域特性の把握
3. 危険箇所の記入
4. 避難ルート案(仮)の検討・選定
5. まち歩き
6. まち歩き結果の反映と報告・共有
7. 避難に向けた話し合い
8. マイ防災マップ(案)の確認



●●マイ防災マップについて●●

1. 避難の方針

2. 日頃の備え

3. 早めの状況把握

4. 早めの避難

5. 各種連絡先

連絡先	電話番号	住所
消防団	0774-92-1122	京田辺市
消防署	0774-92-0110	京田辺市
警察署	0774-92-0117	京田辺市
保健所	0774-92-0414	京田辺市
福祉課	0800-777-3081	京田辺市
子育て支援課	0120-94-4517	京田辺市
子育て支援センター	0774-92-1173	京田辺市

事業効果

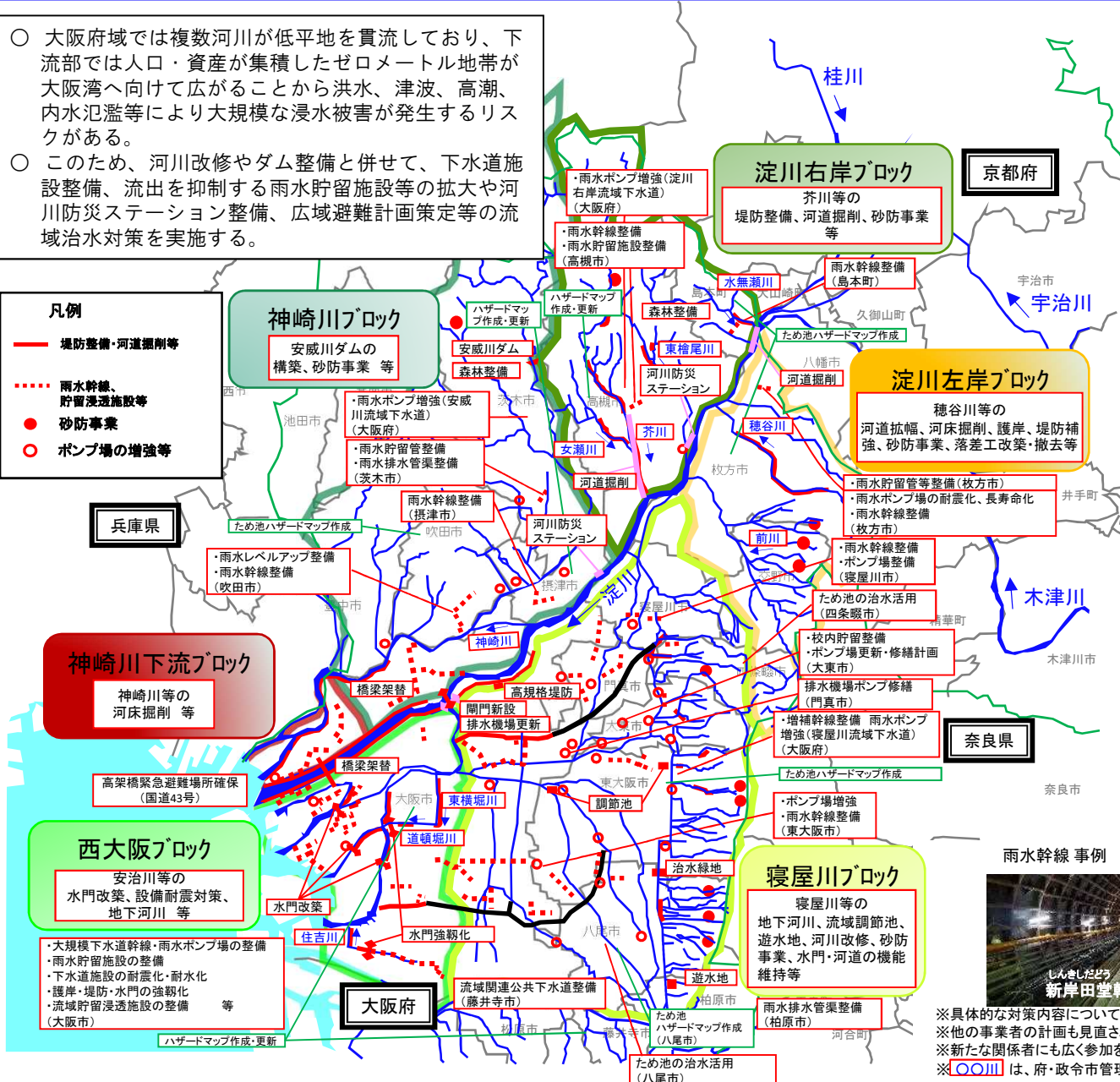
- 住民への災害リスクや危険箇所、避難ルートや避難のタイミングを周知できた。
- マップ作成の過程で地区の公民館の活用や要配慮者の対応などを、地区の中で考えてもらうことができ、地域防災力の向上につながった。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【位置図】

～ 滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 大阪府域では複数河川が低平地を貫流しており、下流部では人口・資産が集積したゼロメートル地帯が大坂湾へ向けて広がることから洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがある。
- このため、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

- 凡例**
- 堤防整備・河道掘削等
 - 雨水幹線、貯留浸透施設等
 - 砂防事業
 - ポンプ場の増強等



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・高規格堤防整備、築堤、堤防強化
 - ・河道拡幅・掘削、橋梁架替
 - ・護岸、落差工改築・撤去
 - ・砂防事業、森林整備及び保全
 - ・閘門新設、水門改築、施設耐震補強
 - ・河川防災拠点整備、河川防災ステーション整備
 - ・高架橋緊急避難場所確保
 - ・ダム建設、ダムの堆砂除去
 - ・事前放流等の実施・体制構築
 - ・地下河川、流域調節池、遊水地
 - ・下水道等の排水施設整備・改修・修繕・更新
 - ・雨水貯留浸透施設の整備
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成
 - ・ため池の治水活用 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・土地利用誘導
 - ・開発行為に対する流出抑制対策指導
 - ・水害リスクマップの作成 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・洪水ハザードマップ作成・更新
 - ・ため池ハザードマップ作成
 - ・防災教育・啓発活動等の推進
 - ・要配慮者利用施設における避難計画の策定支援
 - ・タイムラインの作成・運用
 - ・マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
 - ・VR・AR等を用いた情報発信
 - ・ホットライン構築
 - ・水位計・監視カメラの設置、監視体制の拡充
 - ・広域避難計画策定
 - ・分かりやすい防災気象情報の提供
 - ・ゲリラ豪雨対策アクションプラン策定 等

■ グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。
 ※**〇〇川**は、府・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。

淀川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p>整備率：77% (概ね6か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>39市町村 (令和4年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>221施設 (令和3年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 64箇所 (令和4年度実施分) 砂防関係施設の整備数 7施設 (令和4年度完成分) ※施工中 29施設</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>9市町村 (令和4年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 186河川 (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年3月末時点 内水浸水想定区域 7団体 (令和4年3月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 14,088施設 土砂 906施設 (令和4年9月末時点) 個別避難計画 44市町 (令和4年1月1日時点)</p>
---	---	---	--	---	---	---


氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川・下水道などにおける対策(寝屋川流域)


河川、下水道等が一体となった治水対策を実施しており、地下河川、下水道増補幹線、遊水池、調整池等の整備を推進。

【令和4年度の主な実績】

- 寝屋川北部地下河川 城北立坑築造
- 恩智川(法善寺)多目的遊水池
- 池床掘削、管理橋上部工
- 躯体築造工
- 布施公園調節池
- 加納元町調節池 I期発進立坑築造
- 門真守口増補幹線
- シールド工
- 新岸田堂幹線
- シールド工(東大阪市施工)
- 流域貯留浸透施設の整備(4市4校1公園)
- ため池の治水活用(八尾市)



寝屋川北部地下河川
城北立坑築造工事



加納元町調節池(I期)

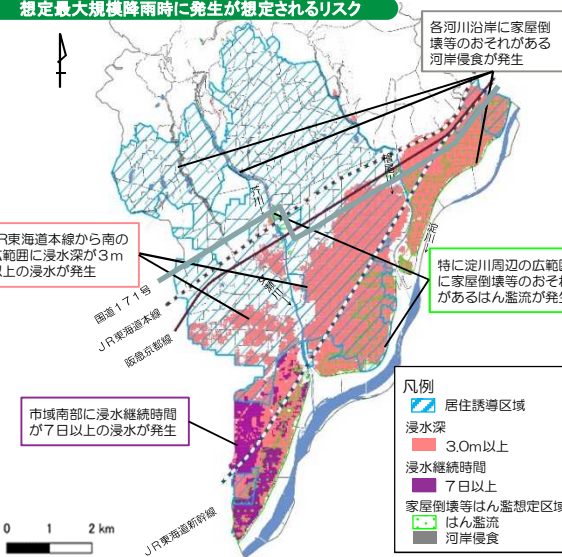
<大阪府>

被害対象を減少させるための対策

居住誘導区域見直し及び防災指針の策定

平成29年3月に策定した高槻市立地適正化計画の居住誘導区域は災害リスクを踏まえ設定しているが、昨今の頻発化・激甚化する自然災害への対応や法改正の主旨を踏まえ、水害リスクについて、居住誘導区域を見直すとともに、防災指針を追加する変更を行う。

想定最大規模降雨時に発生が想定されるリスク



各河川沿岸に家屋倒壊等のおそれがある河岸侵食が発生

JR東海道本線から南の広範囲に浸水深が3m以上の浸水が発生

国道171号

JR東海道本線

阪急京都線

特に淀川周辺の広範囲に家屋倒壊等のおそれがあるはん濫流が発生

市域南部に浸水継続時間が7日以上浸水が発生

JR東海道新幹線

凡例

- 居住誘導区域
- 浸水深
- 3.0m以上
- 浸水継続時間
- 7日以上
- 家屋倒壊等はん濫想定区域
- はん濫流
- 河岸侵食

<高槻市>

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

まるごとまちごとハザードマップの増設

平成30年3月に阪急水無瀬駅に設置したまるごとまちごとハザードマップを令和2年11月にJR島本駅、町立第三小学校、同第四小学校、同第一中学校に増設。



浸水深4.6m第四小学校正門



浸水深2.2mJR島本駅東口



<島本町>

※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。
 ※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。18

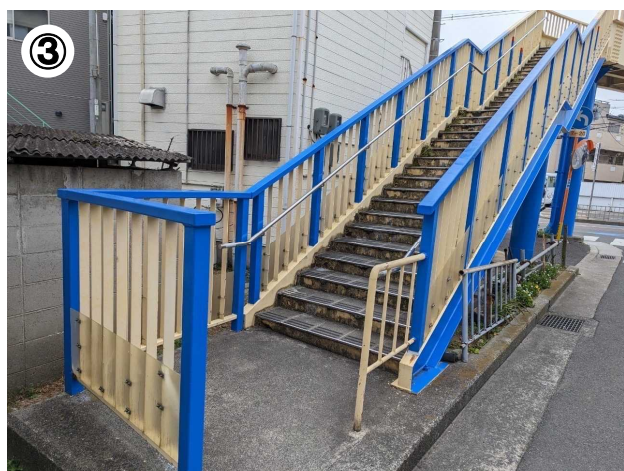
まるまち高度化について(摂津市の取組)

まるごとまちごとハザードマップの高度化

実施内容

- これまでのまるごとまちごとハザードマップ(まるまちHM)に比べてさらに分かりやすく、実際の浸水深が一目でわかるように工夫することで、設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうことができます。
- 二次元バーコードにより自治体の防災情報サイトに接続が可能となります。
- 二次元バーコードを活用した避難訓練や防災マップの作成にも活用できます。

●交通量の多い府道に架かる歩道橋に設置(青色塗装)

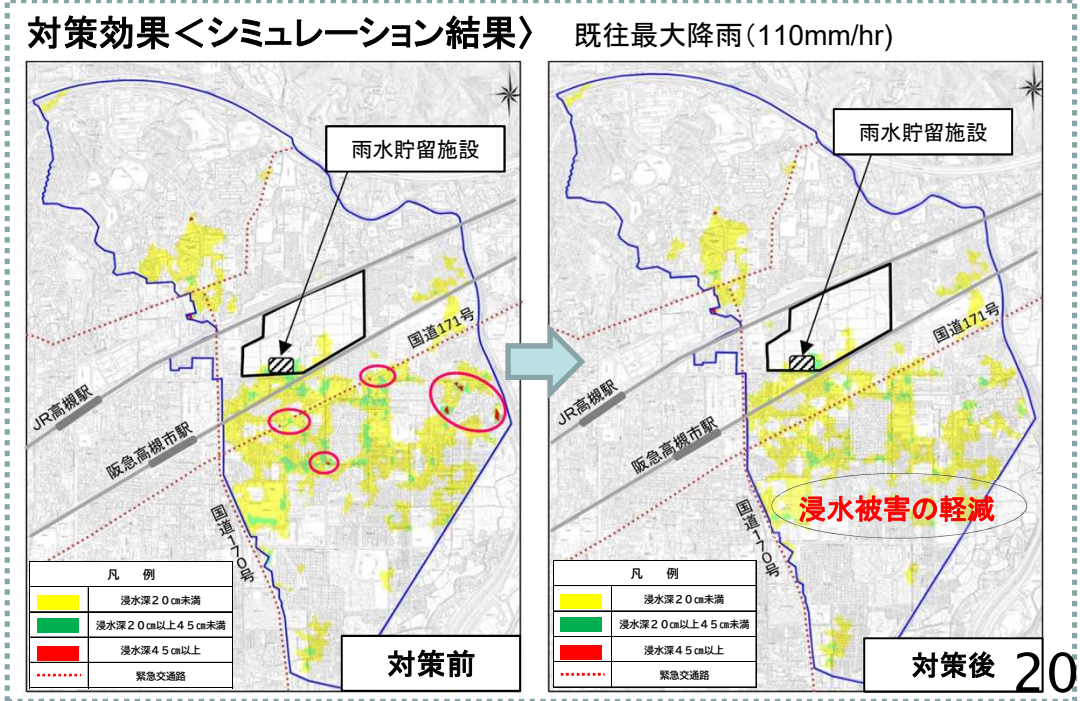
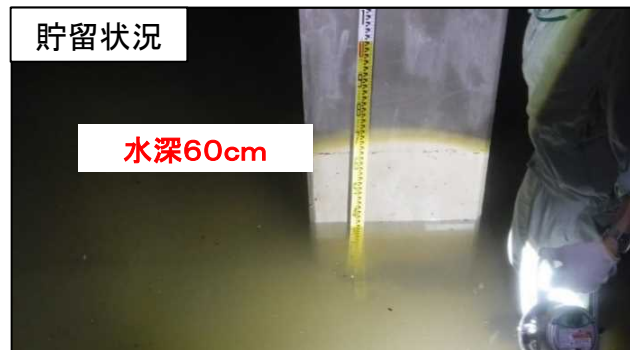


安満遺跡公園雨水貯留施設整備効果(令和3年8月13日における豪雨)

【安満遺跡公園内雨水貯留施設】
貯留量: 雨水貯留施設20,000m³



集中豪雨発生日(時間当たり降雨量)	被害(天王町周辺)
平成24年8月14日(110mm/hr)	床上24件、床下152件
~ 平成29年6月 貯留施設完成 ~	
令和3年8月13日(56mm/hr)	浸水被害なし
	※下水道計画降雨(10年確率(48mm/h))

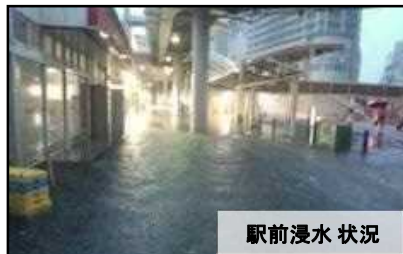


流域治水対策の取組み事例 ○氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

□JR高槻駅北駅前広場 雨水貯留施設整備

(令和5年3月完成)

平成24年8月豪雨 (本市既往最大降雨)



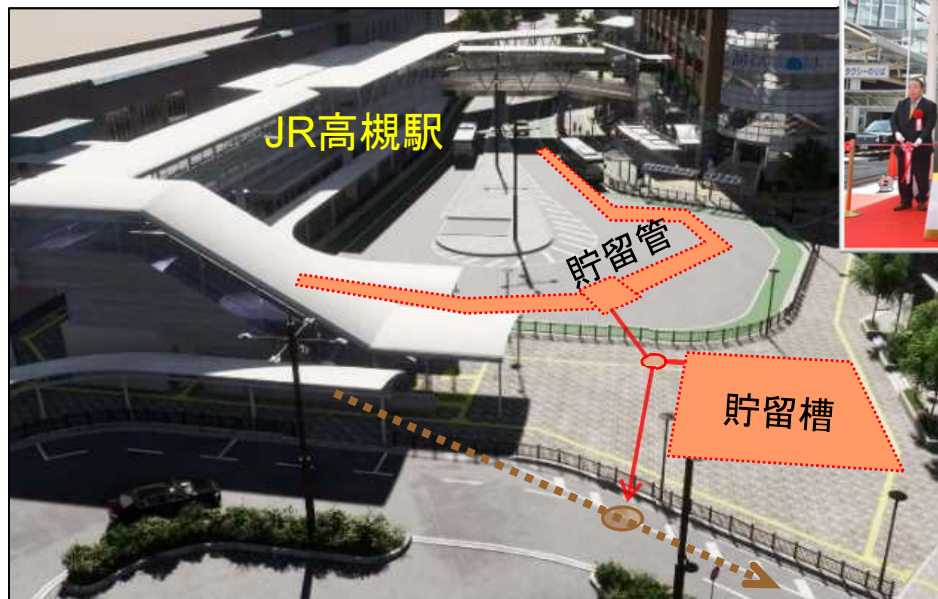
〔浸水被害発生状況〕

発生日時 平成24年8月14日

時間最大雨量 110mm/hr

総雨量 216mm

床上/床下浸水 247戸/597戸



□雨水流出抑制施設の整備

令和4年度末整備完了 (小中学校) 7校

…小中学校の校庭を活用した流出抑制施設 (平成29年度～)

整備実績



降雨開始直後



降雨終了時

整備年度	整備数
平成29年度	1校
令和元年度	2校
令和2年度	1校
令和3年度	1校
令和4年度	2校

□森林整備・保全 ≪森林災害復旧事業≫

平成30年台風21号による風倒木被害613ヘクタールのうち、
集落・道路・河川付近の優先度の高い森林約123ヘクタール
を復旧（平成30年度～令和4年度）

事業主体：大阪府森林組合



ドローンによる資材運搬



高性能林業機械を用いた倒木処理



植生基盤工

流域治水対策の取組み事例

○被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

□市制施行80周年記念事業 高槻市全域大防災訓練

特別警報級の台風接近に伴う大規模風水害・土砂災害を訓練想定とし、タイムライン（避難行動計画）に沿って、自助・共助・公助の各分野において訓練を実施

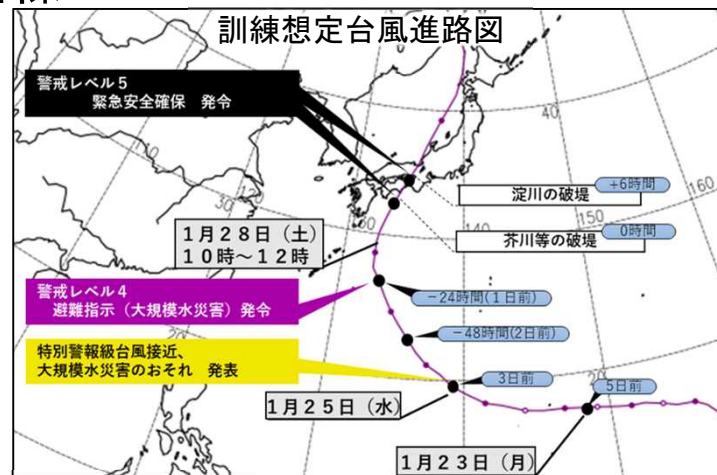
主催 高槻市、高槻市コミュニティ市民会議

訓練期間 令和5年1月23日（月）～29日（日）

○1/23（月）～27日（金）防災情報取得訓練

○1/28（土）市民避難訓練（40か所）、市営バス避難者輸送訓練、災害対策本部図上訓練、情報収集伝達訓練、水防訓練、救援物資配送訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練等

参加者 約5,700人



○1/29日（日）総合防災訓練フェス（安満遺跡公園）

総合救助訓練、特殊車両展示・体験、ハザードマップ出前講座、パネル展示、防災資機材展示・体験、防災クイズラリー、自衛隊カレー試食等

参加者 約26,000人



流域治水対策の取り組み事例

○被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



□市制施行80周年記念事業 高槻市全域大防災訓練

○3/19(日)高槻市防災シンポジウム

参加者 約1,300人

高槻城公園芸術文化劇場

大防災訓練の締めくくりとして、災害は必ず起こり得るとの意識をさらに高める必要がある。
平成30年の大阪府北部地震や台風第21号からまもなく5年を迎えようとしていることから、「忘れない、伝える、考える」をテーマに、今後起こり得る災害へ備える。

<令和5年3月18日オープン>

キリシタン大名として有名な高山右近が城主を務めた高槻城二の丸跡地に、かつての高槻城を思わせる堀や塀を再現。外壁には格子戸をイメージした縦格子の木材を使用し、歴史的な遺構を現代的にデザイン



市制施行80周年記念事業 高槻市 Takatsuki City 80周年記念事業 高槻市防災シンポジウム

東日本大震災をはじめ、被災地として度重なる災害対応を経験するとともに、他の被災自治体を積極的に支援する立谷秀清氏（福島県相馬市長・全国市長会会長）をお招きしての基調講演と、特別対談では「自治体間における水平連携の重要性」をテーマに、立谷市長と高槻市長（中核市市長会会長）が本音で語り合います。

【第1部】市民防災協議会発足式 (13:30~13:55)

【市民防災協議会】自動・共助力の更なる向上を目指し、各地区の防災活動のサポートやその活動を担う人材育成等を市と協働で推進する組織

【第2部】基調講演 (14:00~15:00)

テーマ：「災害対応は義理と人情」

講師：立谷 秀清 相馬市長

無料（要申込）
申込方法は裏面

【第3部】特別対談 (15:15~16:00)

テーマ：「自治体間における水平連携の重要性」



福島県相馬市長 立谷 秀清氏



高槻市長 濱田 剛史

立谷 秀清 相馬市長（全国市長会会長）
濱田 剛史 高槻市長（中核市市長会会長）



令和5年
3月19日(日)

13:30~16:00(開場 12:30)

会場：高槻城公園芸術文化劇場 南館（トリシマホール）

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。（駐車場利用不可）

共催：高槻市、高槻市コミュニティ市民会議

【第1部】市民防災協議会発足式



【第2部】基調講演（立谷秀清 相馬市長）

<タイトル：災害対応は義理と人情>



【第3部】特別対談（立谷市長・濱田市長）

<テーマ：自治体間における水平連携の重要性>



<市民防災協議会>

更なる地域防災力の向上を図ることを目的とした市民団体で、市との協働により、各種防災施策や人材育成手法の検討など、各地区の防災活動を支援することで、市民防災組織を核に各種機関・団体と連携した防災活動を推進する



シンポジウム参加者状況

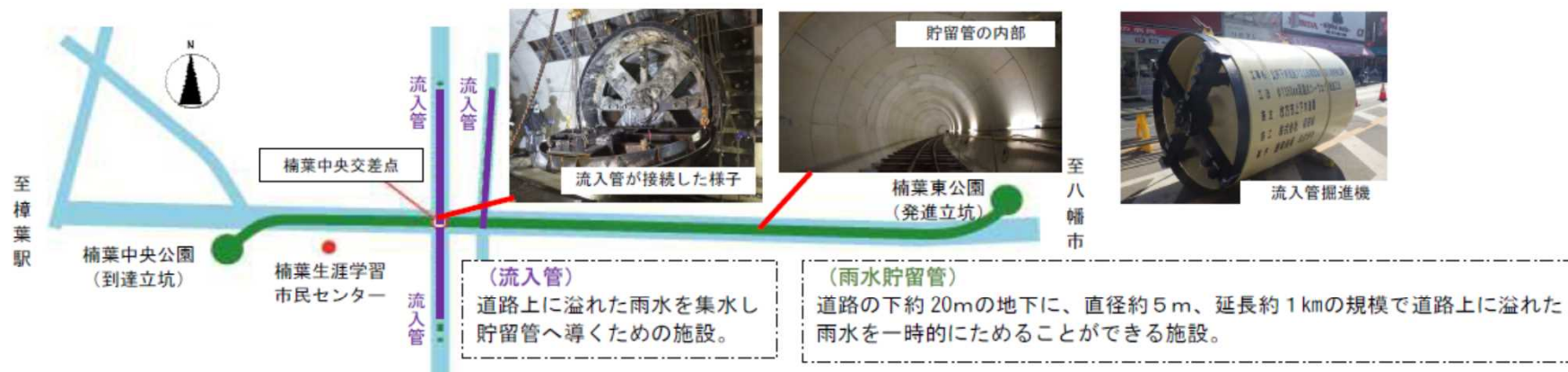
淀川水系流域治水プロジェクト 事例紹介 枚方市 下水道浸水被害軽減総合事業

背景

楠葉地区では、大雨により過去から度重なる家屋への浸水や道路冠水が発生しています。平成 24 年には観測史上最大の降雨量を記録し、甚大な浸水被害が発生しました。これらの浸水被害を軽減するため、平成 29 年度から雨水貯留管などの整備を進めています。

効果

雨水貯留管や流入管が完成すると、溢れた雨水を一時的に最大約 2 万 m³ (25m プール約 56 杯分) 貯留することが可能となり、浸水被害の軽減が見込めます。一時的に貯留された雨水は雨が止んだ後、排水先の川の水位を確認しポンプで排水することで、次の大雨に備えることが可能となります。



広報活動

PR動画の作成

枚方市ライブモーションの一環として、1 分間の浸水被害対策 PR 動画を作成



『枚方市 上下水道部 動画』で検索

工事中の「楠葉雨水貯留管」および完成した「サダ雨水貯留管」の内部を 360° カメラで撮影



『枚方市 雨水貯留管』で検索

【3D-360°】楠葉雨水貯留管 | 大阪府枚方市 上下水道局

現場見学会の実施

近隣小学校 4 校を対象とした現場見学会を開催



寝屋川流域総合治水対策

昭和60年に、国、府、流域11市による寝屋川流域都市水防災協議会を発足し、対策を進めてきた。

河道整備だけでは洪水処理に限界があるため、河道整備に加えて地下河川や流域調節池、流域対応施設が位置づけられている。



(出典:「寝屋川流域水害対策計画(変更)H26.8」抜粋)

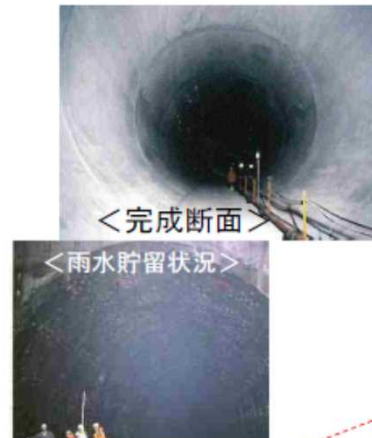
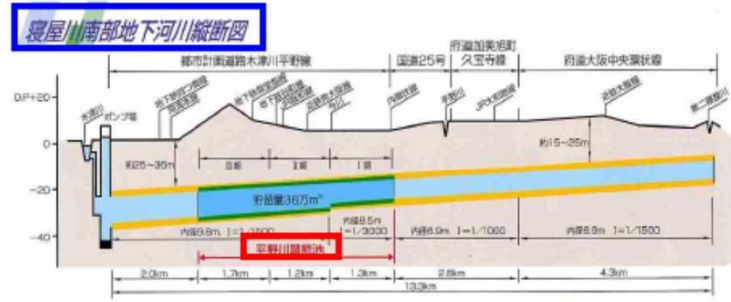
大阪市河川部門では、河道整備、流域対応施設整備に加え、地下河川の一部となる地下調節池を先行整備してきた。

■ 地下河川 先行整備

○ 平野川調節池(寝屋川南部地下河川の先行整備区間)

木津川まで延びる寝屋川南部地下河川(府施設)のうち、本市東南部の浸水被害を早期解消するため、昭和56年から、都市計画道路木津川平野線・森新庄大和川線の地下空間に雨水を一時的に貯留する施設として、大阪市において先行的に整備した。

(平成27年度完成)【貯留量 36万m³】



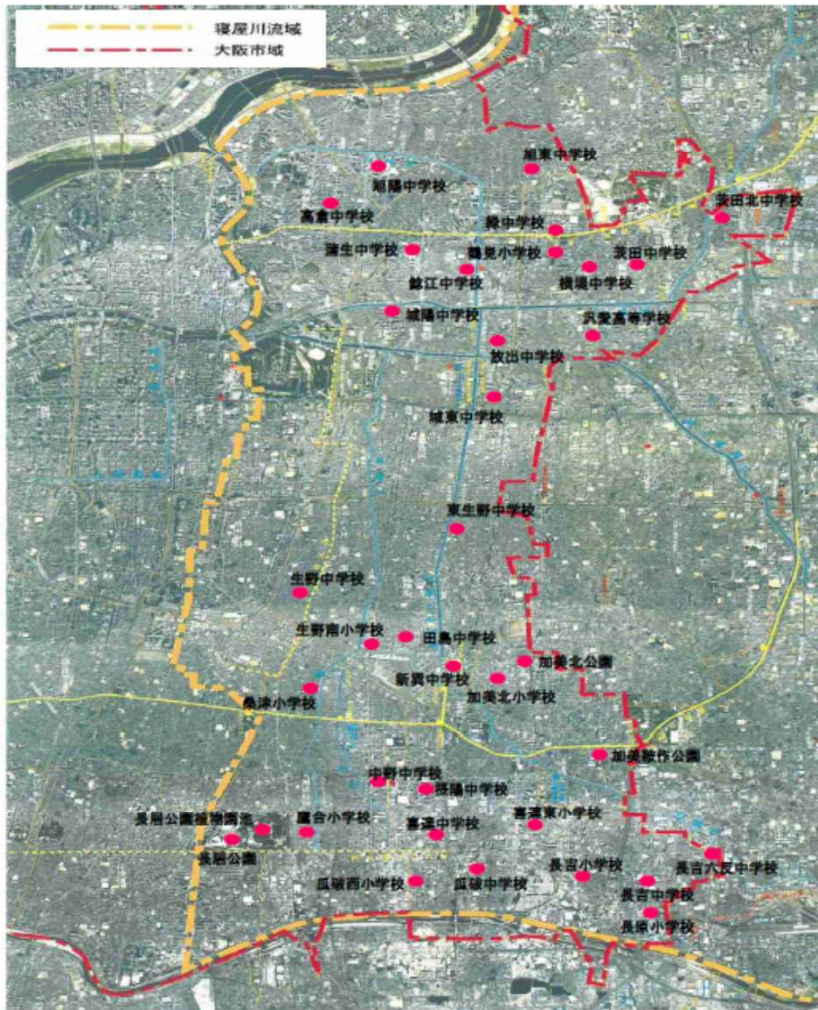
○ 地下河川

河川の拡幅や新たな河川の開削は立地的に困難なため、道路等の公共施設の地下空間を有効に利用し、新たな放流施設として地下に建設する放流施設



流域対応施設 整備状況

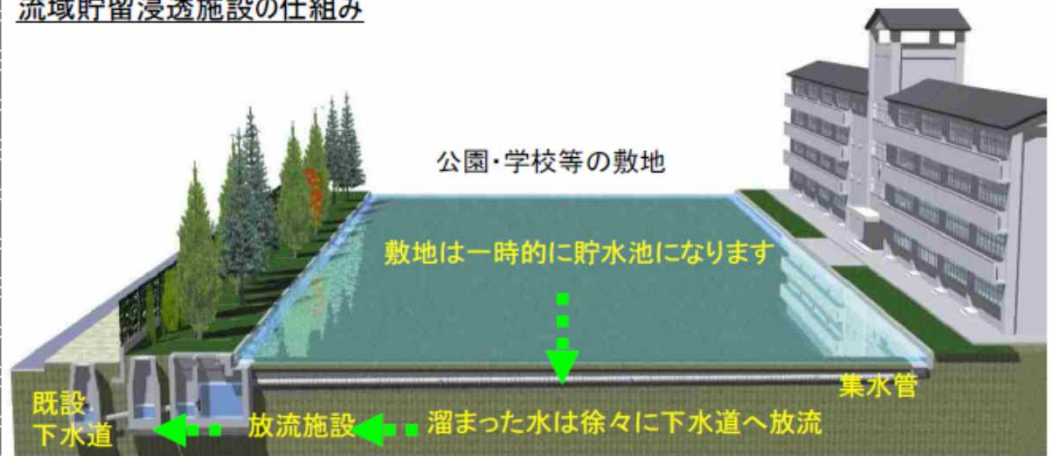
○ 大阪市域における施設設置状況(河川事業)



昭和59年度から、市立の小中高校および公園において表面貯留形式の流域貯留浸透施設を整備してきた。

学校 33施設・公園 4施設 合計貯留量:約5万9千 m^3

流域貯留浸透施設の仕組み



平常時



平常時の流域貯留施設(瓜破中学校校庭)

雨天時



このほかに、流域対応として、下水道管理者が、民間開発時に流出抑制施設の設置指導を行っている。

取組内容 河川の防災情報を提供するHPをリニューアルし、避難や水防活動に資する情報提供を充実化

大雨の際に府民の皆さんが躊躇なく避難行動をとれるように、雨量、河川水位や河川カメラ画像などの河川防災情報を公開しています。（英語対応）

<https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>



令和4年12月～ ホームページを大幅リニューアル



パソコン画面



スマホ画面

観測時刻	戎橋 基準 m	万歳橋 基準 m
堤防高	7.065	6.917
氾濫危険水位	4.20	3.45
避難判断水位	3.85	3.10
氾濫注意水位	3.75	3.00
水防団待機水位	2.50	1.50
最大値	[18:37] 4.45	[18:26] 5.25
最小値	[04:30] 1.23	[16:54] 0.20
既往最大	4.24	5.01
09/02 18:24	3.94	5.25
09/02 18:23	3.95	5.23
09/02 18:22	3.79	5.23
09/02 18:21	3.77	5.20
09/02 18:20	3.70	5.15
09/02 18:19	3.65	5.08
09/02 18:18	3.94	4.99
09/02 18:17	3.95	4.91
09/02 18:16	3.90	4.82
09/02 18:15	3.79	4.70
09/02 18:14	3.77	4.59
09/02 18:13	3.70	4.47
09/02 18:12	3.65	4.37
09/02 18:11	3.60	4.25
09/02 18:10	3.57	4.15
09/02 18:09	3.54	4.04
09/02 18:08	3.52	3.92
09/02 18:07	3.48	3.79
09/02 18:06	3.44	3.68
09/02 18:05	3.39	3.59

水位情報閲覧画面

新ホームページの改良点①
～閲覧可能情報の追加～
これまで閲覧できた水位、雨量、貯留施設（ダム等）状況に加え、新たに**洪水リスク表示図、土砂災害警戒区域、土砂災害の防災情報、降水ナウキャスト、水門・鉄扉等施設の開閉状況、開設避難所情報**が同一画面上で閲覧可能に！

新ホームページの改良点②
～スマートフォンに対応～
スマホ専用画面を新たに作成
スマホの位置情報から**自分の位置、周囲の河川状況、開設された避難所の位置が一目で分かる！**

新ホームページの改良点③
～リアルタイム化～
水位情報の提供を**10分⇒1分間隔に短縮**
リアルタイムで水位が確認できる！